

リズム

RHYTHM

2024
Vol.65

宇治市男女共同参画支援センターは
設立21年目を迎えました



♪今年度も秋開催♪
UJIあさぎりフェスティバル

「はて?よく考えてみませんか」

国連の「女子差別撤廃条約」に日本が批准し、「男女雇用機会均等法」が公布されたのが1986年のことで、約40年もの時間が経ちました。その間にも男女共同参画社会の実現を21世紀の最重要課題と位置付けた「男女共同参画社会基本法(1999年)」や「女性活躍推進法(正式名称:女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)(2015年)」が公布・施行されるなど、女性が自らの意思によって働き、つきたい職業に従事し、社会の一員として参画するための環境は、形の上では整ってきています。しかしその実情はどうでしょうか。女性たちが担う仕事の内容について、色々な角度から検証してみましょう。

女性の就業率は全年齢で上がっていますが、男性と比べて非正規雇用割合が非常に高く、産業別では「医療・福祉」分野のいわゆる『ケア的職業』や「飲食・宿泊」等の『サービス業』への従事者の多さが見て取れます。また数の上では女性管理職が増えてはいても、組織の意思決定を大きく左右するような指導的地位につく女性の割合は諸外国と比べて低い水準となっています。日本初の女性弁護士である三淵嘉子さんは「女性の裁判官は、女性本来の特性から見て、家庭裁判所の裁判官がふさわしい」との言葉に対して「家庭裁判所裁判官の適性があるかどうかは個人の特性によるもので、男女の別に決められるものではありません」と返しました。性別に関わる根強い無意識の偏見・思い込み(アンコンシャス・バイアス)を見逃さず、誰もが自分らしく働き・生きられる社会を実現するにはどうすればよいのか、今こそよく考えてみませんか。

参考文献 令和5年度内閣府男女共同参画白書、『三淵嘉子の生涯』佐賀 千恵美 著 内外出版社

パイオニアに学ぼう!

男女共同参画基礎講座『はて?社会は本当に変わったか』のご案内は次頁へ

情報ライブラリー図書紹介

センター3階の情報ライブラリーでは男女共同参画について考える指針となる図書資料を多数取り揃えています。

『人生を羽ばたいた“トラママ”
三淵嘉子の生涯』
佐賀 千恵美 著 内外出版社



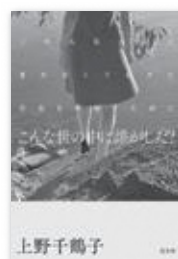
朝の連続テレビ小説『虎に翼』主人公モデルとなった日本初の女性裁判所所長。時代を切り開いたその生涯を、自身も弁護士である著者が記したノンフィクション。

『ACE(エース)サバイバー
子ども期の逆境に苦しむ人々』
三谷 はるよ 著 筑摩書房



子ども期の逆境体験ACEは心と身体を蝕み、その後の人生の病氣・低学歴・失業・貧困・孤立等様々な困難に結びつく。サバイバーが不利にならない社会を考える。

『こんな世の中に誰がした? ごめんなさいと
言わなくてすみ社会を手渡すために』
上野 千鶴子 著 光文社



「あなたには、ほんの少しでも社会を変える力があります」。不均衡な社会に生きるすべての女性の人生に寄り添い、自身の贖罪とともにエールを送る、上野千鶴子渾身の一冊。

※著者の佐賀千恵美さんをお招きして「男女共同参画基礎」を開催します。(詳細はP.2へ)

※著者の三谷はるよさんをお招きして「困難を抱える女性のためのセミナー」を開催します。(詳細はP.4へ)

男女共同参画基礎講座



申込用専用フォーム

はて？社会は本当に変わったか

～日本初の女性弁護士 三淵嘉子が切り開いた道から学ぶ～

市民の皆さんに「男女共同参画」への関心を持っていただくきっかけとなるよう、センターでは毎年「男女共同参画基礎講座」を開催しています。

今年度は長く法曹界で活躍され、『華やぐ女たち 女性法曹のあけぼの』、『三淵嘉子※の生涯』などの著書もある**佐賀千恵美さん**を講師にお招きします。黎明期の女性法律家のエピソードやご自身の体験をお話いただき、日本における女性の社会参画の変遷、理想と現実、今後への展望などについて考えてみませんか。

※NHK連続テレビ小説『虎に翼』主人公のモデル



【講師プロフィール】

1952年熊本県生まれ。1977年司法試験合格。翌年、東京大学法学部卒業。
東京地方検察庁検事を経て1986年弁護士登録。

■と き 令和6年 9月 29日(日) 午後 1時半～ 3時半

■ところ 男女共同参画支援センター（ゆめりあ うじ内）会議室 1

■講 師 佐賀 千恵美さん 弁護士、佐賀千恵美法律事務所 所長

■参加費 無料

■定 員 50人（先着順）

■保 育 6カ月～小学3年生（要申込・保育申込締切9月22日）

■申 込 ①氏名②住所③連絡先（電話・メールアドレスなど）④保育希望者は子の名前（ふりがな）と年齢を電話・専用フォームまたは直接センター窓口へ。

※複数名でご参加の場合もお一人ずつお申し込みください。

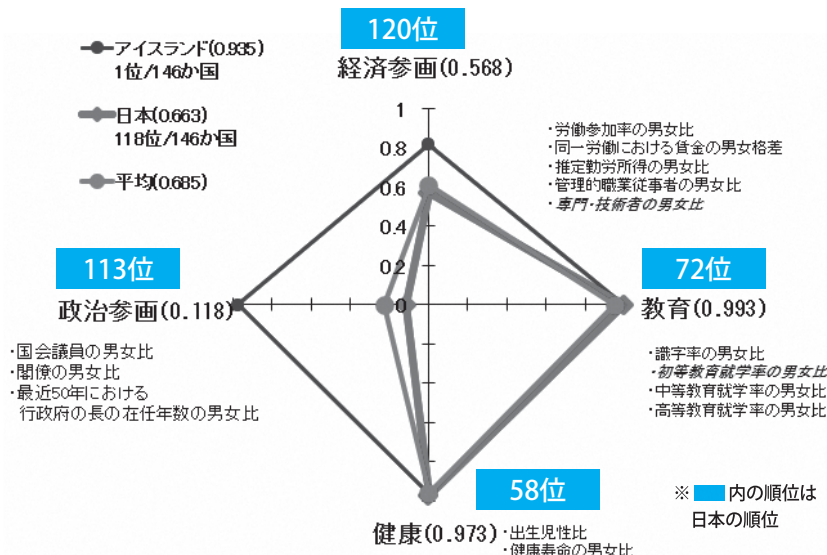
ジェンダーギャップ指数2024発表!!

「ジェンダーギャップ指数」とは、男女の平等の度合いを測るための指標です。

この指数は、世界の国々がどれくらい男女平等を実現しているかを数値で表しており、政治、経済、教育、健康の4つの分野で評価されます。

2024年の全体の日本の順位は、146カ国中118位という結果でした。

かつては教育や健康の分野で、世界トップクラスでしたが、近年順位を下げ政治や経済分野では大きく後れをとっています。国会議員や企業のリーダーの中には男性が多く、女性が少ないことや、働く女性の賃金が男性より低い事などが理由として挙げられます。



ジェンダーギャップ指数2024の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.816
7	ドイツ	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
87	イタリア	0.703
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
116	バーレーン	0.666
117	ネパール	0.664
118	日本	0.663
119	コモロ	0.663
120	ブルキナファソ	0.661

内閣府男女共同参画局ホームページより

上野千鶴子さんが来館

講座報告

令和6年7月6日(土)、センター設立21年目の新たなスタートへの第一歩として、上野千鶴子さんを講師にお招きし「男女共同参画週間 U」のつどいを開催しました。

「フェミニズムがひらいた道～これまで、そしてこれから～」のタイトルで、日本におけるフェミニズムの歴史、フェミニズムが成しえたことと成しえなかったこと、いま起こっていること、さらにこれからへの展望と次世代に向けたメッセージをお聞かせいただきました。1970年代のウーマン・リブに端を発し、日本女性学会において女性学が定義づけられ、やがてジェンダー研究へと発展するまで、常にフェミニズムの最前線に身を置き、活動・発信を続けてこられた上野さんから直接お話を聞くという貴重な機会となりました。

おかげさまで非常に多くの参加希望をいただき、抽選のうえで参加者を決定いたしました。満員の会場では皆さん熱心に上野さんのお話に耳を傾けられ、講演後の質疑応答で上野さんと直接お話しされる機会もありました。終了後のアンケートでは「非常によかった」「よかった」との評価を多くいただきました。



参加者アンケートから

- ★フェミニズムの歴史について詳しく学ぶ良い機会になった。(10代女)
- ★これまでの積み重ねの上に今があるのだと気付いた。(30代女)
- ★“笑いは共犯”、“沈黙は同意”という言葉が心に残った。(40代女)
- ★フェミニズムについて以前より詳しく知ることができた。(60代男)
- ★これまでの歩み、歴史を振り返った内容がとても心に響いた。上野さんが私たちに託そうとされるメッセージをしっかりと受けとめた。(60代女)
- ★「こんなことは私たちの世代で終わりにしたい。」という言葉が本当に心に残った。(70代以上女)

中学生の職場体験

令和6年5月30日・31日に西宇治中学校の2名の生徒さんがセンターでの職場体験に来られました。

主なお仕事の内容は、6月23日から29日の『男女共同参画週間』で使用するポスターの作成です。

お二人とも絵を描くことが好き！とのこと。イラストを描くことで、目にとまりやすくなるのでは？からはじまり、どうすれば多くの方に見てもらえるかを一生懸命考えた渾身のポスターが出来上がりました。男女共同参画週間に合わせ、センター1階のギャラリー ステップ ワンで展示を行い、来館される多くの方に見ていただくことができました。



困難を抱える女性のためのセミナー



申込み専用フォーム

あなたは知っていますか。

子ども時代に負った心の傷のために、一生苦しみ続ける人たちがいることを…

「大人の生きづらさを」を生むACE(エース)(子ども期の逆境体験)を考える

ACE(子ども期の逆境体験)とは、0歳から18歳までの子ども時代に経験するトラウマ(心の傷)となりうる出来事を指す言葉です。

子ども時代に虐待やネグレクト、さまざまな家族の問題などの体験にさらされた女性は、生涯にわたって心身の健康や社会経済活動などが、生きづらい状況に置かれる可能性が高いと言われています。

子ども時代に受けた心の傷が、大人になってからどのように影響を及ぼすのを知り、困難な問題を抱える女性の背景と状況から、誰もが生きやすい社会にするためにはどうすればよいのかを考えてみませんか。



【講師】

三谷 はるよさん

(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)
第3回福祉社会学会奨励賞、第15回日本NPO学会林雄二郎賞を受賞。専門は家族社会学・福祉社会学。著書に『ACEサバイバー 子ども期の逆境に苦しむ人々』

■と き 令和6年10月16日(水) 午後1時半～3時半

■ところ 男女共同参画支援センター 会議室1

■参加費 無料

あさぎりフェスティバル2024

輝け命!いきいき はつらつ つながる出逢い
～仕事・地域・生きること育ちあうことの大切さ～

入場無料

参加費がかかる
企画もございます

市民や市民団体が独自の企画を持ち寄り、日頃の活動報告や情報交流を図るとともに、男女が生き生きと暮らせるまちづくりを市民と行政が協働して進めていくイベントあさぎりフェスティバルを今年も開催します!

コンサート、ワークショップ、ものづくり、飲食物販売、ミニバザー、団体活動紹介パネル展示など、楽しいイベントがいっぱい。

皆さんのお越しをお待ちしています♪



令和6年10月5日(土)・6日(日)

午前10時～午後3時

会場 宇治市男女共同参画支援センター (ゆめりあ うじ内)

今年のメイン企画は豪華3本立て!

6日

午前10時～12時

茶運び人形の実演とからくり人形の歴史と技術のおはなし
藤原清さん

動く様子を見に来てね!

みんなでハワイを感じよう!

午後1時～1時半

ウクレレ演奏とフラ
メレ・マカナ宇治&レイ・ノヘア

午後1時半～3時

講演会『ふるさと 生き物発見』
ナチュラリスト中川宗孝さん

カメなどの本物のいきものとふれあおう!

【同時開催】ここからチャレンジ・マルシェ 午前10時～午後4時 宇治駅前ひろばにて

編集 宇治市男女共同参画支援センター 発行 令和6年9月

宇治市男女共同参画支援センターは、男女共同参画に関する施策の実施や、市民の皆さんによる男女共同参画の推進に関する取り組みを支援する施設です。

〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9 JR宇治駅前 ゆめりあ うじ内

TEL: 0774-39-9377 FAX: 0774-39-9378 E-mail: danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp

◆『リズム』は、古紙を配合した再生紙を使用しています◆



宇治市男女共同参画課 検索